

平成22年度 教育研究業績書

氏名 松川 恭子

最終学歴	大阪大学大学院人間科学研究科人間学専攻 博士号（人間科学）（2006年3月）	
取得学位	博士（人間科学）	
所属学会	日本文化人類学会、日本南アジア学会、「宗教と社会」学会	
専門分野	文化人類学	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・インド西部ゴア州における多言語状況の文化人類学的研究 ・大衆演劇ティアトル（インド・ゴア社会）のインド近代演劇発展史および大衆文化の系譜における位置づけに関する研究 ・マルチメディア（特にデジタル・ストーリーテリングの手法）を利用した地域社会理解・発信の実践に関する方法論研究 	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産社会学特殊講義（前期） ・比較社会学（前期） ・フィールドワーク概論（後期） ・メディアの人類学（後期） ・社会学応用実習Ⅰ・Ⅱ ・社会学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・奈良文化論（後期 2010年10月16日「日本の火葬とインドの火葬」担当）
	大学院修士課程担当科目（博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・文化人類学 ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	<p>① 平成22年度科学研究費補助金（若手研究（B））「インドのナショナルな大衆文化の系譜と演劇にみる地域的想像力の展開ーゴアの場合」研究代表者</p> <p>② 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 地域研究推進事業「現代インド地域研究」国立民族学博物館拠点 拠点共同研究員</p> <p>③ 大学間連携研究会「フィールドワーク教育と地域連携活動」（京都文教大学）メンバー</p> <p>④ 海外調査1回（インド・ゴア州）、国際学会発表2回（ポルトガル、日本）</p>	

<p>【教育上の特記事項】</p>	<p>① 奈良大学地域連携教育研究センター事業3「学生企画・地域交流ネットワークづくりとマルチメディアによる情報発信」主担当者として平城小学校・平城公民館と連携した学生の活動を支援した。</p> <p>② 大和郡山市で「金魚に学ぶクリエイション」を実施しているグループ、K-Poolプロジェクトと連携し、全国金魚すくい選手権大会の会場で「金魚で？お絵描き教室」を開催した。</p> <p>③ 3年生ゼミにおいて、デジタル・ストーリーテリング作品製作の指導を行った。</p>
<p>【社会的活動】</p>	<p>① 奈良県立西の京高等学校「地域創生コース」奈良大学特別講義「「生きられた経験」に 出会い、より良い社会を作るための調査方法ーフィールドワーカー」（平成22年6月10日）を担当した。</p> <p>② 学生による平城小学校・平城公民館の活動支援のコーディネートを行った。</p>
<p>【学内活動】 (学内職歴を含む)</p>	<p>情報処理センター運営委員、ネットワーク委員会委員、国際交流委員会委員、総合研究所運営委員会委員、紀要編集委員会委員、奈良大学地域連携教育研究センター運営委員（地域連携部門長）、学部内教務委員、社会学部実習室管理委員、社会調査学科公開講座委員、男子バスケットボール部顧問、バスケットボール・サークル顧問、ユニセフ・ボランティアサークル顧問</p>

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①『南アジア社会を学ぶ人のために』	共	2010年10月	世界思想社	田中雅一・田辺明生編、「言語政策」の章を担当執筆。
(学術論文)				
① “Local Foodways as Intangible Heritage in India: The Role of Chefs and Restaurants in Preserving Goan Culinary Ways”	単	2010年6月	in Rogério Amoêda, Sérgio Lira and Christina Pinheiro (eds.), <i>Heritage 2010: Heritage and Sustainable Development</i> , Barcelos: Green Lines Institute for Sustainable Development	インド、ゴアにおける食文化を無形遺産として保持していく際の料理人とレストランの役割に着目して論じた。
② 「ゴア州の大衆演劇シアトルにみるインド近代演劇の地域的展開—「伝統」をめぐる議論を中心に」	単	2011年3月	INDAS Working Papers No.2 (人間文化研究機構地域研究推進事業「現代インド地域研究」) URL : http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/staticpages/index.php/INDASWP1ist_ja	インド、ゴアにおける演劇シアトルをインド近代演劇の発展史の中に位置づけた上で、近年のシアトル劇の「伝統」をめぐる議論の分析を行った。
(学会発表)				
① 「インド、ゴア州の大衆演劇シアトルにみる近代演劇の地域的展開と現在—「伝統」をめぐる議論を中心に」	単	2010年5月	人間文化研究機構地域研究推進事業現代インド地域研究東京外国語拠点若手研究者セミナー「南アジア芸能から見る現代(いま)」(5.15 東京大学駒場キャンパス、東京都目黒区)	インド、ゴアにおける演劇シアトルをインド近代演劇の発展史の中に位置づけた上で、近年のシアトル劇の「伝統」をめぐる議論の考察を行った。
② “Local Foodways as Intangible Heritage in India: The Role of Chefs and Restaurants in Preserving Goan Culinary Ways”	単	2010年6月	a paper presented at the 2nd International Conference on Heritage and Sustainable Development (Heritage 2010, Evora, Portugal), 25. 6, 2010.	インド、ゴアにおける食文化を無形遺産として保持していく際の料理人とレストランの役割に着目して論じた。

<p>③ “Transformation of Local Language Politics: Church Involvement in Konkani Publications in Roman Script in Goa”</p>	<p>単</p>	<p>2010年7月</p>	<p>a paper presented at International Conference “ The City in South Asia” organized by the Centre for Contemporary India Area Studies at the National Museum of Ethnology (Suita, Japan), 19. 7, 2010.</p>	<p>インド、ゴアにおける言語をめぐる政治の変遷と現状について分析した。特に1961年のポルトガル支配からの解放以降に現地語コンカニー語のローマ字筆記の印刷物普及にカトリック教会が果たした役割を指摘した。</p>
<p>(その他)</p>				
<p>①</p>				